

12月26日 財政福祉委員会（岡田ゆき子委員）

請願審査

## 国保料の引き下げ、敬老パスの利用制限反対の請願 岡田議員が採択を要求。結果は「保留」に

12月26日の財政福祉委員会では、名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会の「国民健康保険制度、高齢者医療制度及び介護保険制度の改善を求める請願」、敬老パスの充実を求める名東の会・千種の会・守山の会の「敬老パスの早期利用拡大と利用回数制限を導入しないこと等を求める請願」などについて審査が行われました。日本共産党名古屋市議団は、請願の紹介議員となり、委員会審査では、岡田ゆき子議員が請願の採択を求めましたが、審査結果は、下表のとおり「国保の資格証明書・差押え」の請願項目は「不採択」、その他の請願項目は「保留」となりました。



### 設楽町では子どもの均等割を5割減免

国保の改善を求める請願について岡田議員は、今年度の国保料が平均3,200円引き上げられたことを指摘し、18歳未満の子どもの均等割減免を求めました。特に県内自治体で、一宮市・大府市・田原市に続いて、設楽町でも実施された点を質しました。

当局は、設楽町は来年度から一般財源を投入して18

歳未満の均等割を2分の1に減免する改正があったと答えました。岡田議員は、子どもにも1人5万5千円もかかる均等割の減免が実現すれば、大きな負担軽減となると請願の採択を求めました。

### 国保の資格証明書は受療権の侵害

岡田議員は、最近資格証明書世帯から相談を受けた例を示して、「医療の必要があり、費用の支払いが困難である旨の申し出があれば短期保険証を発行」することを求めました。

また、資格証明書も短期保険証も発行をゼロとした横浜市のように、受療権の保障が何よりも大切だと指摘しました。

### 敬老パス上限回数設定は利用抑制招く

敬老パスの利用回数制限の導入について岡田議員は、「上限回数を超える人に留まらず、上限回数に満たない人も利用抑制を招く」「障害者・高齢者・子どもの医療費助成でも、たくさん医療費を使うから上限を設けるということはない」と述べ、回数制限を設けず私鉄への拡大を求める請願の採択を求めました。

財政福祉委員会での請願・陳情審査の結果(2019年12月26日)

請願名(請願者)	請願項目	各党派の態度					結果
		共	自	民	公	減	
国民健康保険制度、高齢者医療制度及び介護保険制度の改善を求める請願 (名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会)	国保料を大幅に引き下げる	国の動向等を注視し、慎重に検討	●	●	●	●	保留
	国保料減免制度拡充と、該当する世帯は自動減免を18歳未満の子どもの均等割を免除						
	国保資格証明書発行や生活を脅かす差押えの中止	○	●	●	●	●	不採択
	介護保険料・利用料の独自減免制度の新設	国の動向等を注視し、慎重に検討	●	●	●	●	保留
利用期間の制限をせず、必要な介護サービス・介護予防サービスを受けられるようにする							
敬老パスの早期利用拡大と利用回数制限を導入しないこと等を求める請願 (敬老パスの充実を求める名東の会・千種の会・守山の会)	後期高齢者医療と介護保険の負担負担を2割に引き上げないように国に求める	敬老パス制度のあり方を検討する中、慎重な審査が必要	●	●	●	●	保留
	早期に敬老パスの名鉄、JR、近鉄、名鉄バスへの利用拡大を実現する						
高齢者福祉・障害者福祉の職場における職員の大幅な増員と賃金引き上げの実現を目指す意見書提出を求める陳情 (全国福祉保育労働組合東海地方本部)	利用拡大に当たっては、利用回数制限を導入しない	聞き置く	●	●	●	●	保留
	上飯田連絡線を含め、償還払い方式を改める						
	高齢者福祉・障害者福祉の職場の職員配置基準の抜本的引き上げ、大幅な人員増をできるようにする						
高齢者福祉・障害者福祉の労働者の賃金引き上げ、全産業平均との月約10万円の格差をなくす	全ての高齢者福祉・障害者福祉の労働者の賃金引き上げ、全産業平均との月約10万円の格差をなくす	聞き置く	●	●	●	●	保留
	高齢者福祉・障害者福祉の労働者が人減らしく暮らすために、時間給で最低1500円以上支払えるようにする						

○=採択 ●=不採択

共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ